

# みなみかぜ 南風通信

牧之原市立川崎小学校  
コミュニティスクール

Vol. 6 2021.03.02

## 相良小学校の友達とオンラインで交流

なかよし学級の子供たちと相良小学校の友達をオンラインで繋ぎました。ぶっつけ本番で心配な部分もありましたが、なんとか上手くできたようです。

はじめの頃は、オンライン独特の「少し遅れて聞こえる声」にタイミングが合わなかったようです。初日は、相手方の音が小さく聞き取りにくいということでストレスもありました。二日目には、不具合が是正され「唄あり・踊あり・笑いあり」で楽しいひと時を過ごせました。次は、相良小学校の方から仕掛けてもらえると思えば、交流がもっと活性化すると思います。

これから、いろんな人たちとオンライン交流できるように考えたいと思います。(秘策あり)

追伸：昔の人間からすれば「オンラインなんて気持ちが伝わりにくい！」とか「実際に会わないとダメ！」と言う人もいます。自分もその一人です。しかし、そんなことも言ってもらいたくないです。コロナという災害に後押しされて「オンライン授業」や「在宅ワーク」や「オンライン診療」といったテレワークの普及が加速しています。間違いなく近い将来には、テレワークが当たり前になることでしょう。そんな中で、こんな体験を積むことで、子供たちの将来に寄与できれば幸いです。秋山先生、菊田先生の発案のおかげです。



## 手紙って、嬉しいですね

2年生のまち探検で仲良くなった子供たちから沢山の手紙をもらいました。思いもよらぬ出来事に、家でスキャンしてパソコンに保存しました。どんな形で返事を出そうか？思案中です。ただ残念なのは手紙をくれた子の顔が思い浮かばないことです。それでも「階段が苦手な子」、「足首を捻挫していた子」、「歩きながらなぞなぞや九九で遊んだ子」などは手紙に書いてあったので印象に残っています。出会った時からマスクを付けているので余計に顔の印象が薄いのだと思いました。今のところ、なかよし学級、2年生、5年生以外の子供たちとはあまり接点がありませんが「ムラッキー」と声をかけてもらえるのは嬉しいことです。



## 子どもたちのために準備してもらい **ビックリ** です

まち探検第2弾の最後は、「株ハイナン」さんです。解体工場の現場やリサイクルプラントの見学ができないので、動画やスライドや手書きのパンフレットを使って会社の概要や解体現場の仕事を説明していただきました。この日のために貴重な時間を使って準備してくださったことが伝わってきました。榛原文化センターを解体する時の動画には「オ～ツ！」と歓声があがりました。複数の重機を組み合わせて操作することで、安全で効率的な解体工事ができることを教えてもらい、社長さんは、特に「安全」の重要性を強調されていました。



テレビCMの予定表とキーホルダーを記念にいただきました。本当に真心のこもった演出に感謝しかありません。

後日、ハイナンさんからは、「初めてのことでこちらも試行錯誤でしたが、児童のみなさんの元気な反応と活発な質問にうれしくなりました。明るい声に元気をもらい、短い時間でしたが楽しい時間を過ごさせてもらいました。ありがとうございました。ハイナン 総務部」のメールをいただきました。社長さんから来年度の訪問も快諾して頂きました。

## キャベツを植えました **川小応援隊**

川小応援隊の池田さんにキャベツの植え付けを応援していただきました。池田さんは鹿島海水浴場のそばで野菜を作っています。キャベツは3年生の理科の授業でのアオムシの観察用です。モンシロチョウが来ますかね。



## 勝間田小学校第3回学校運営協議会を見学しました

勝間田小学校の学校運営協議会の関係者が8名、教育委員会や他校からの見学の皆さんが15名と異様な雰囲気での開催となりました。中島教頭と鈴木CSDから一年間の取り組みなどの説明があった後、運営協議委員の皆さんによる意見・感想がありました。はじめて運営協議会を見ましたが、想像していた



たよりずっとアットホームな雰囲気でした。羨ましく思いました。見学者がいなければもっと和気藹々とできたんだろうと想像しました。常に川小と置き換えてしまうのは良くない癖で、、、「とても勝小のようにできない」と落ち込んで帰ってきました。

それでも「カタチにこだわらないこと」や「活動を記録に残すことの大切さ」を学ぶことができました。運営委員の(有名な)石津道弘さんにご挨拶できてラッキー。そして声をかけて下さった中島教頭先生をはじめとする勝小学校運営協議会のみなさんに感謝です。